

多彩な遠隔監視・データ計測サービスが建設現場の施工管理を進化させた

建設業界にとって工事現場の品質・効率・安全の向上は重要なテーマ。その実現手段として情報化施工（ICTや制御・測量技術を活用した施工管理）への取り組みが広がっている。

この情報化施工を“遠隔監視”“データ計測”といった側面からサポートするソリューションがエコモットの建設現場向け遠隔監視システム「現場ロイド」だ。現場の映像や計測データをクラウド上のサーバで収集・分析し、利用者にWebサービスとして提供する。

現場のニーズに積極対応し すでに20種のサービスを開発

「現場ロイド」を立ち上げたそもそものきっかけは、2008年にMCPCアワードでモバイル中小企業賞を受賞したロードヒーティング遠隔制御システム（ゆりもつと）について、建設業界関係者から声をかけられたことだった。同社代表取締役の入澤拓也氏は業界の特性を知るにつれ、モバイルとの親和性が高いことを強く認識した。建設現場は基本的に“仮設”

であるうえ、有線での通信が難しい場所も少なくないからだ。

実ビジネスでは当初、遠隔監視用カメラシステムの提供にとどまっていたが、「河川の水位を計測して数値をチェックしたい」という要望を受け、水位計測器にデータロガーと携帯電話モジュールを付加した仕組みを開発。加えて、インターネット経由で計測データや分析結果の提供、設置機器の制御操作を可能にするためクラウド上のサーバ環境も整備し、2009年4月から本格的な展開を開始した。

その後、利用者側のニーズに応え、新しいサービスを次々と開発。現在は約20種を数える。その多くは、国土交通省が新技術の活用・共有を目的として整備した新技術情報提供システム（NETIS）に登録されている。

機軸はあくまでモバイル 新たな市場開拓にも意欲

「現場ロイド」の導入実績は、これまでに全国各地の公共工事現場など約500件にのぼっている。

特に好評なのが、寒中でのコンク

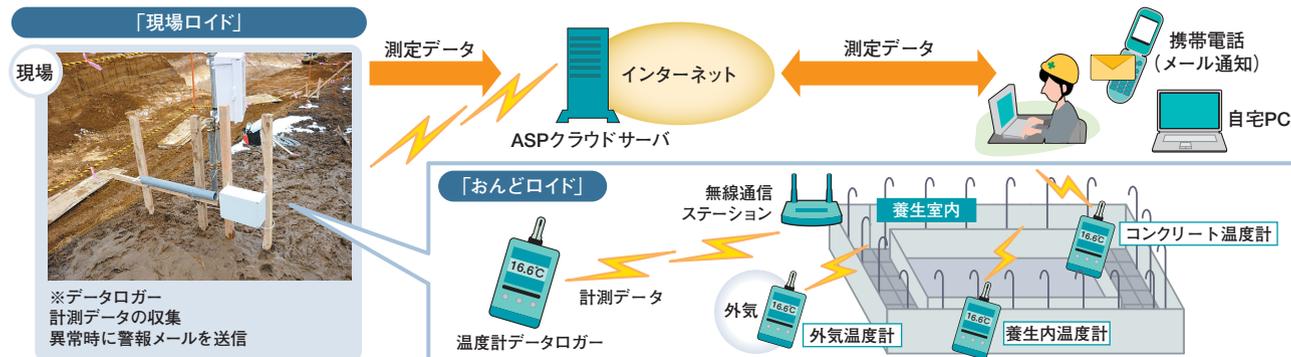


エコモット
代表取締役
入澤拓也氏

リート施工の品質保持に欠かせない養生温度管理を遠隔から行える「おんどロイド」だ。同サービスは、定期的に現地へ足を運ぶ必要のあった従来の監視作業の手間を解消するとともに、温度低下時などでもアラート通知によりスピーディな対処も可能になる。一度採用した建設会社のリピート率も高いという。

入澤氏は、「ロードヒーティング遠隔制御で培ったノウハウを生かして、建設業向けシステムでもいち早く需要を開拓できました。先行の利は非常に大きいと思っています」と自信を見せる。ただ、「当社の事業の機軸はあくまで『モバイル』。これからも世の中のあらゆる場面で役に立つモバイルソリューションを生み出していきます」と、将来への意気込みを語っている。

図 「現場ロイド」と「おんどロイド」のシステム概要



Profile

エコモット株式会社
<http://www.ecomott.co.jp>

本社所在地 北海道札幌市西区琴似1条3-3-12 しなねん琴似ビル4F
設立 2007年2月
資本金 1000万円

事業内容

モバイルインターネットを活用した各種ソリューションの企画・開発および販売・保守、インターネット・携帯電話のコンテンツの企画・制作・運営